

新春のご挨拶

公益社団法人春日部法人会
会長 田中 彦八



会員の皆様、あけましておめでとうございます。

令和4年は皆様のご協力を頂きながら、何とか前に進むことができたと思っております。

改めて、皆様のご理解に深く感謝申し上げます。

公益社団法人 春日部法人会は6市2町にわたる広域の集合体であります。各支部は、その地域特性や伝統を生かし市民に直接触れ合い、日々進化する税に関する普及啓発活動や青少年の納税意識の向上に力を注いで頂いており、法人会運動の最前線で活動をして頂いております。

令和4年度法人会は、組織改革、経理の明確化、無駄の洗い出し等にも力を注いでまいりました。その中で見つけた財源や人の力を新たな運動につなげてまいりました。

本年はもっと会員の皆様のお役に立てる法人会でありたいと思っております。

税に関する運動は当然ですが、「会員の皆様のお役にたてる法人会」とは何か？

企業連携のお手伝い、勉強会の開催、もっと何かあるのではないかと役員一同、心を砕いております。どうか会員の皆様におかれましてもご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

また、春日部税務署と春日部法人会の相互信頼に基づ

く協力関係は着実に発展しております。昨年に続き、税金教室を兼ねたNHK交響楽団弦楽4重奏を12の小学校で開催することができ、そのすべてに春日部税務署の幹部が出席をして頂き、ご挨拶を頂きました。

その他、春日部税務署主催の「税を考える週間」においても宮代高校書道部の若い力と感性をお借りして、税を知り、考える書道パフォーマンスを初めて開催し、素晴らしい成果を見せて頂きました。

このような若者を巻き込む活動に、春日部税務署管内税務行政協力会(藤の和会)と共にお手伝いをさせて頂きましたことは、とてもありがたく思っております。

法人会の活動は、この他「花と緑いっぱい運動」、「税に関する絵はがきコンクール」、「インボイス制度の研修会」、「経理や労務などのセミナー」「e-Taxによる申告、納付」等多岐にわたっております。

特に、明日の日本を担う青年部会には、税務署の若手職員の皆様との人的交流を深めて頂きたいと思っておりますし、笑顔と行動力に優れた女性部会には今まで以上の税の普及啓発活動を期待しております。

まだまだ、法人会が取り組むべきことは、沢山あると思いますがこれも会員の皆様のご協力とご理解を心からお願い申し上げます。